

## 抗 POGZ 抗体、ウサギ抗血清

70-112      100 µl

**保存:** 4°C または -20°C で送付。 -20°C で保存。繰り返し凍結融解は避ける。

**免疫原:** ヒト POGZ の 1-562 アミノ酸残基を含む組換え体タンパク質。

**形状:** ウサギ抗血清。 アジド無添加。 0.22 µm 膜ろ過による無菌化。

**反応性:** ヒト及びマウスの POGZ タンパク質。

他の種では試していない。

**背景:** POGZ (ジンクフィンガードメインを備えた *pogo* 転位性エレメント由来タンパク質 : 1410 aa、155 kDa) は、有糸分裂細胞周期の進行に役割をはたし、動原体の形成および体細胞分裂期姉妹染色分体接着に関与している。 POGZ は CBX5 (HP1α) との結合を通して、オーロラキナーゼ B/AURKB の活性化および AURKB と CBX5 の染色体腕からの解離を調節することで体細胞染色体の分離に関与している。

### 用途

1. ウェスタンブロット(1/1,000 希釈)
2. 免疫染色(1/500 希釈)
3. 免疫沈降 (実験状況に依る)

他の用途は試していない。

データリンク; [Entrez Gene: 23126](#) Human

[SwissProt: Q7Z3K3](#) Human

**文献:** この抗体は以下の論文に記載され、使用された。

Nozawa R.S et al (2010) Human POGZ modulates dissociation of HP1alpha from mitotic chromosome arms through Aurora B activation. Nat. Cell Biol. 12:719-727

[PubMed: 20562864](#)

続く

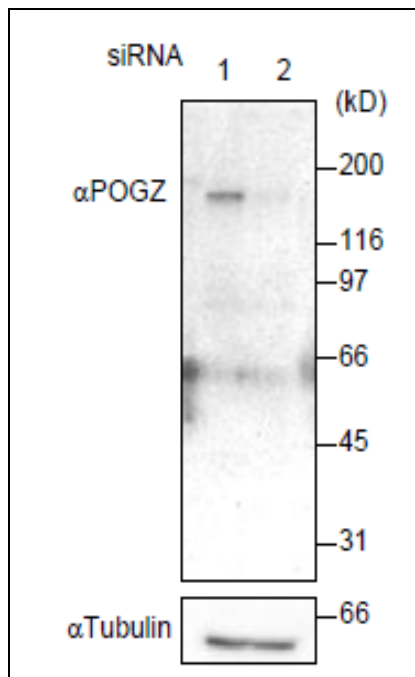


図1. POGZ のウエスタンブロット

レーン 1: コントロール siRNA をトランスフェクトした HeLa 細胞の粗抽出液。

レーン 2: POGZ 特異的 siRNA をトランスフェクトした HeLa 細胞の粗抽出液。

抗体は 1/1,000 希釈して使用した。

抗 POGZ 抗体の特異性は POGZ 特異的な siRNA を導入した細胞抽出液中に POGZ タンパク質のバンドが消失している (レーン 2) ので、確認された。

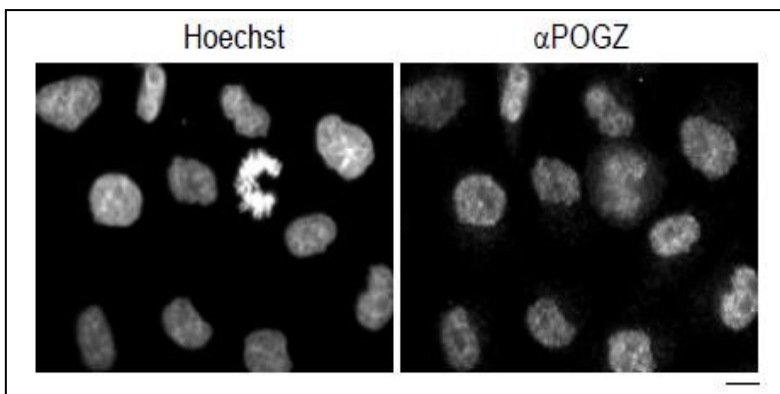


図2. POGZ.タンパク質の免疫蛍光染色

パラホルムアルデヒドで固定した HeLa 細胞を Hoechst 33342 と抗-POGZ 抗体で免疫蛍光染色した。抗体は 1/500 希釈で使用。スケールバー、10  $\mu$ m

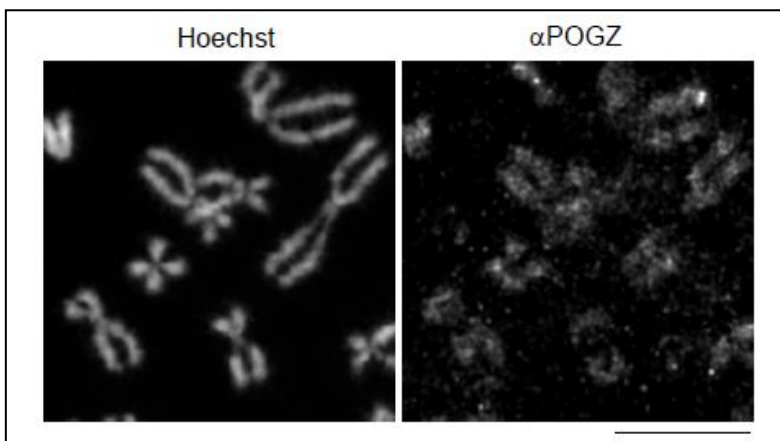


図3. 染色体上の POGD タンパク質の免疫蛍光染色

HeLa 細胞の染色体をスプレッドして Hoechst 33342 及び抗 POGZ 抗体で染色した。抗体は 1/500 希釈で使用。スケールバー、10  $\mu$ m